

## 令和6年度 試験研究課題一覧

「愛知県農林水産業の試験研究基本計画 2025」に基づき、循環型林業の推進や森林の多面的機能の発揮に向けて、現場で求められている技術開発を早期に行うため、研究分野を重点化して効率的かつ効果的に試験研究を行っています。

重点研究 目 標	研究課題	研究期間	試験研究内容
循環型林業の 推進のための スマート林業 及び木材利用 の推進	エリートツリーの効率的な結実促進技術に関する研究	R5～R7	閉鎖型採種園におけるエリートツリー採種木の結実を促進させるため、雌花の形成量を増加させる最適な条件を明らかにするとともに、受粉効率を高める方法等について検討を行う。
	エリートツリーの雄花形成・花粉採取技術に関する研究	R5～R7	閉鎖型採種園におけるエリートツリー採種木の雄花の形成量を増加させるため、乾燥ストレスや薬剤処理等による最適な条件を明らかにするとともに、効率的に花粉を採取する技術の開発を行う。
	少花粉ヒノキの採種木等の育成技術に関する研究	R5～R7	少花粉ヒノキの採種木等を早期に育成するため、最適な施肥条件を明らかにするとともに、効率的に種子生産を行うための剪定方法の検討を行う。
	県産材利用拡大に向けた航空レーザー計測データを活用した林分収穫予想表の作成	R4～R6	航空レーザー計測データの活用と現地調査により、スギ・ヒノキ人工林の高齢級まで対応できる新たな林分収穫予想表を作成する。
	早生樹等の生育特性及び強度性能評価に関する研究	R5～R7	森林所有者の植栽木の選択肢を増やすため、成長等に優れた早生樹やクスノキ等の有用広葉樹について、生育特性や強度性能を評価し、利用法の検討を行う。
森林の整備による多面的機能の発揮	花粉の少ない品種の早期育苗・育成技術の開発【新規】	R6～R8	花粉の少ない苗木の安定供給に向けて、ヒノキコンテナ苗生産における発芽促進方法や幼苗を育成する最適な条件を明らかにし、生産期間を短縮する技術の開発を行う。
	早生樹等の効率的な苗木生産及び育林技術に関する研究【新規】	R6～R8	早生樹のセンダンについて、コンテナ苗の効率的な生産技術を開発するとともに、優良材生産に向けて間伐等の施業方法の検討を行う。
	エリートツリーの挿し木増殖技術の開発	R4～R6	エリートツリー苗木の安定供給を図るため、効率的な挿し木増殖技術を開発するとともに、苗木の育苗方法について検討を行う。
	海岸クロマツ林の保全・管理技術に関する研究【新規】	R6～R8	海岸クロマツ林の保全に向けて、現地の実態を調査し、間伐等の施業指針の検討を行うとともに、虫害を防除するための適切な薬剤散布時期の検討を行う。
	強度間伐施業地のモニタリングによる効果の検証【新規】	R6～R10	強度間伐施業地のモニタリング調査を行い、施業効果を検証するとともに、今後の施業方法の検討を行う。